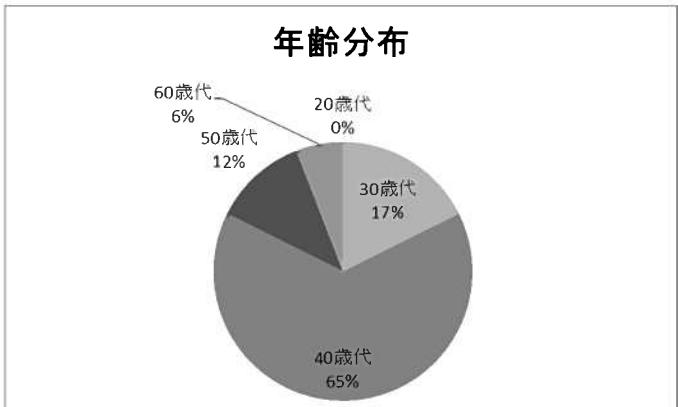


参加者アンケート結果（当日出席者17名より）

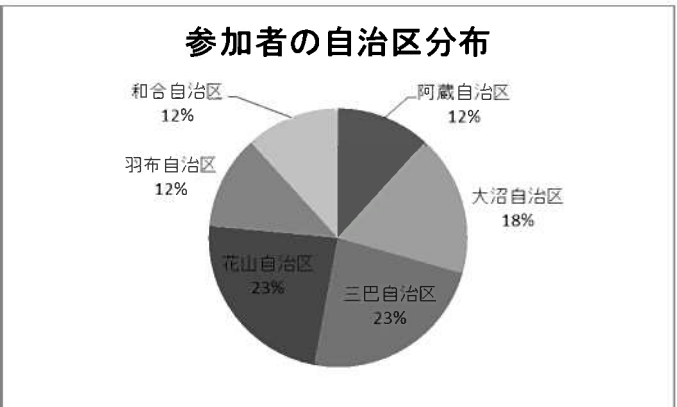
Q1 年齢

「子育て世代の女性で、地域で活発に発言する人」という条件で、区長さんから推薦してもらいました。40歳代の参加者が一番多かったです。



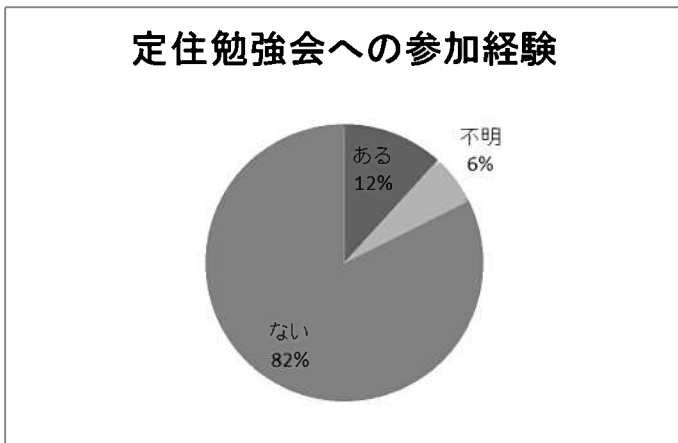
Q2 自治区

田平沢自治区を除く自治区から参加者が集まりました。大沼自治区は学校の親子作業があったため、子育て世代の参加が難しかったです。



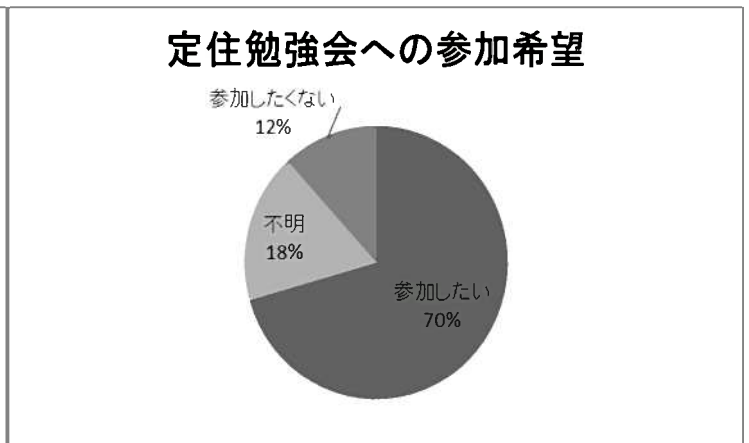
Q3 【定住勉強会】参加経験

ほとんど参加経験がありませんでした。花山自治区など、自治区で勉強会を開催しているところもあります。



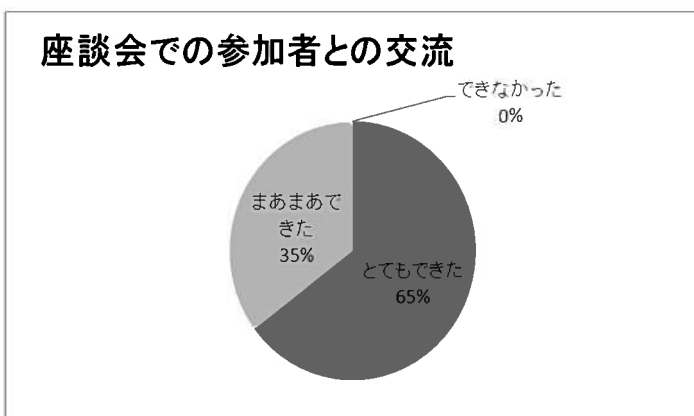
Q4 【定住勉強会】参加希望

7割が今後も勉強会に参加したいと回答しています。



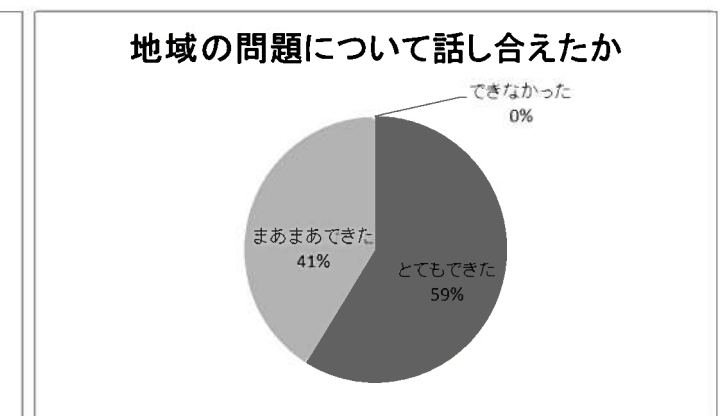
Q5 【座談会】参加者との交流

全ての参加者が、交流できたと回答しています。



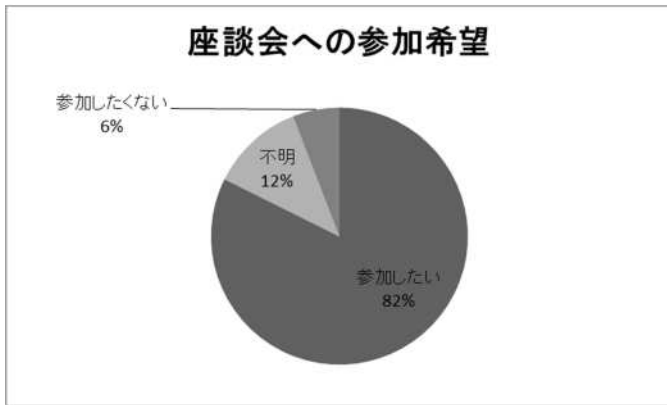
Q6 【座談会】地域の問題を話し合えたか

全ての参加者が、問題を話し合えたと回答しています。



Q7 【座談会】参加希望

約8割が今後も参加したいと回答しています



Q8 【自由記載】下山の現状についてどう思ったか

⇒今回の勉強会や座談会を通じて、参加者が空き家や子育て等地域の問題点を把握できた。

(参加者からの意見)

- ・【30 歳代】将来のことを考えると、色々心配なことがあるんだなあと思いました。
- ・【40 歳代】自分のことではいいいっばいでしたが、下山もこのままではまずいのだと勉強になりました。
- ・【40 歳代】自然環境的にはすごく恵まれているが、実際に移住してもらおうと思うと改善すべき点がいくつかあると感じた。(交通面、医療面、子育て世代の集いの場)
- ・【40 歳代】自分だけでなく、ほかの人も結構同じ悩みを持っていることが分かって、みんなで声をかけてあげれば何とかかなりそうな気がした。
- ・【40 歳代】下山地区の中でも不便なところと便利なところに分かれるなあ…と思いました。
- ・【40 歳代】子どもが小さいころはよいが、子供が大きくなるといういろいろ大変になりそうだなと思った。
- ・【40 歳代】移住者なんているのか？と思ったけれど、結構たくさん世帯が移住していると思いました。足助、旭が多いみたいだけど、そこはどのような環境を整えているのか？
- ・【40 歳代】Iターンの方にどんどん来ていただくのもいいですが、なぜ空き家になると思いますか？その家の子供たちが帰ってこないからですね。ではなぜ帰ってきたくないのでしょうか？その理由について話したり、解決しないと、Iターン者だけに頼るのはダメなんじゃないでしょうか。もともと住んで育った場所をいい所だ！！住みたい！！と思えていないということですよ！！
- ・【40 歳代】若い人に来てほしいのか、自分の子供に継いでほしいのか、この問題が一番重要。
- ・【40 歳代】行政は頑張っているが、現状は、地元の間人が本心からよそ者を受け入れる気持ちを持っていない。
- ・【60 歳代】移住定住希望者が困っていることがよく分かると、アドバイスなどができるかな。
- ・【30 歳代】不満を持っている人が多くいる。子供に下山が（ふるさと）が楽しい良いところであると見せてあげられる、帰ってこられる努力をしなければならぬと感じた。
- ・【50 歳代】空き家に関して考えた方が良い。

Q9 【自由記載】子育て世代の女性が下山に住むために、あなたが地域でできることは

⇒多くの方が、移住者への声掛けの重要性を感じ、また実施しようと思っている。

(参加者からの意見)

- ・【30 歳代】【40 歳代 2 人】【50 歳代】新しい人たちにもどんどん声掛けをしたい。
- ・【40 歳代】近所でなくてもでもあったら声をかけること、自分が下山に来た時に買い物や病院など分からなくて

困ったことを新しく来た人に聞かれたら話をする事ならだれにでもできると思います。

- ・【40 歳代 2 人】 一緒にお話しするくらいならできます。誰かに愚痴や不安なことを聞いてもらうだけでもきつと安心できると思うので。
- ・【40 歳代 2 人】 同じ子育て世代の人たちと会う機会を増やし、色々な行事にも参加していく。
- ・【50 歳代】 いろんな意見を出して地域を変えていくようにすること。
- ・【60 歳代】 地域全体で取り組めるようにすること！何ができていないかを知ることから。
- ・【30 歳代】 何か子供や女性が楽しめる場を作ることが必要である。来てくれる人はどのような人かはわかりませんが、地元の人も受け入れる気持ちが必要であると感じたので、やってみようと思う。
- ・【40 歳代】 地元の人間が、心から町の人を受け入れる気持ちにならないとかなわない。「よそもん」「団地の人」「町の間人」この単語は地の人間が作った差別用語です。

Q10【自由記載】当日気づいた点

⇒**座談会に満足してもらえた。今後はあまり交流のない世代・地域を交えた座談会を企画するとよい。**

(参加者からの意見)

- ・【40 歳代】面白かったです。
- ・【40 歳代】色々話せてよかったです。ありがとうございました。
- ・【60 歳代】色々な意見が出せずにすみません！でも知らない人に出会えてよかったです。
- ・【30 歳代】皆下山の将来のことを考えているなあと思いました。
- ・【40 歳代 2 人】困っていることは皆一緒だなと感じました。下山のいいところ、考えたいと思います。
- ・【40 歳代】またこのような機会があるなら、話し合いの時間がもう少し長く欲しいと思いました。
- ・【50 歳代】参加者も街から移ってきた人と長く住んでいる人との話し合いができるようにできるように今回(文字不明)でちょうどよかった。
- ・【40 歳代】もう少し若い世代、子育てを始めたばかりの世代も交流する機会がないと思うので、その世代も座談会できるとよいと思う。
- ・【50 歳代】下山に越してきた人、地元の人を集めて、お互いのいろんな意見を聞いた方が良かった。
- ・【40 歳代】いつものメンバーだったので、違うメンバーと話してみたかった。かなー？
- ・【30 歳代】トヨタのテストコースができると移住してくる方が増えると思います。空き家が準備できているといいと思います。田原とかどんな感じか勉強したいです。